



2024年8月14日

各位

会社名 株式会社インターネットインフィニティ
代表者名 代表取締役社長 別宮圭一
(コード番号：6545 東証グロース)
問合せ先 常務取締役 星野健治
(TEL. 03-6897-4777)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり 2028年3月期を最終年度とする中期経営計画を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 背景

当社グループの事業に関わる高齢市場は、団塊世代が75歳以上の後期高齢者となり社会保障費が急増する「2025年問題」や高齢者人口割合がピークになる一方で生産年齢人口の急減による介護人材の不足が生じる「2040年問題」など、多くの社会課題を抱えています。

このような環境の中、当社グループでは「健康な未来」というスローガンのもと、2030年の当社グループのあるべき姿として、「IIF Vision2030」を掲げ、これら社会課題を解決するために、介護現場のDX化やリアル事業を通じて蓄積したデータの活用、AI等などのテクノロジーを活用したソリューション開発などに積極的に取り組んでおります。

このたび、コロナ禍が収束し、既存事業が安定拡大フェーズに移行したことを受け、「IIF Vision2030」実現に向けた具体的な取り組みを推進するべく、2028年3月期を最終年度とした中期経営計画を策定いたしました。

2. 中期経営計画について

(1) 対象期間

2026年3月期から2028年3月期までの3ヵ年

(2) 概要

- ・事業環境（超高齢社会における課題）
- ・成長シナリオ（既存事業の拡大及びテクノロジーを活用した新規事業を展開）
- ・成長投資と株主還元

(3) 数値目標 (連結)

	2025年3月期 (予想)	2026年3月期 (計画)	2027年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)
売上高	百万円 5,102	百万円 5,869	百万円 6,831	百万円 7,395
営業利益	355	530	727	980
親会社株主に帰属する当期純利益	204	309	426	574
ROE	13.8%	17.7%	20.2%	22.0%
売上高営業利益率	7.0%	9.0%	10.7%	13.3%
EPS	38円	58円	80円	108円

なお、詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

中期経営計画(2026/3~2028/3)

2024年8月14日

株式会社インターネットインフィニティ 〈証券コード:6545〉



INTERNET INFINITY

Copyright© internet infinity Inc. All Rights Reserved.

目次

1. 経営理念・会社概要	2
2. 事業環境	7
3. 成長戦略	11
4. 数値目標	20
5. 成長投資と株主還元	24
6. SDGs	28

1. 経営理念・会社概要

健康な未来

世界に類を見ない超高齢化社会における課題を
創意革新と挑戦によって解決し、
すべての世代が安心していきいきと活躍し続けられる
健康な未来を目指します

会社概要

設立	2001年5月7日	
事業内容	レコードブック事業 アクティブライフ事業 Webソリューション事業 在宅サービス事業	リハビリ型デイサービスの運営 福祉用具貸与・住宅リフォーム 高齢者向けマーケティング支援、仕事と介護の両立支援 訪問介護、居宅介護、通所介護、施設介護
従業員数	連結364名(2024年3月31日現在)	
上場市場	東京証券取引所 グロース市場 (証券コード 6545)	
連結子会社	株式会社レコードブック 株式会社フルケア 株式会社正光技建 株式会社カンケイ舎	

マネジメントチーム

中長期かつ継続的な健康な未来の実現のため、バランスを重視したマネジメント体制。

代表取締役社長 べっく けいいち
別宮 圭一



IT企業でコンピューター書籍や電子商取引サイトの法人営業に従事。

その後、インターネットは人々の生活に不可欠となると考え、システムインテグレーション事業を目的に当社を設立。

当時、介護ビジネスを手掛ける会社からシステム構築依頼を受けたことをきっかけにヘルスケア業界においてインターネットを活用したビジネスの可能性を見出し、高齢者市場に専門特化したヘルスケア事業を開始。

常務取締役 **藤澤 卓**

(株)アスキー入社後、2004年5月当社入社。介護事業本部長兼在宅サービス事業部長を務め、2005年3月取締役就任。(株)フルケア、(株)正光技建の代表取締役社長を兼任

取締役(社外) **金子 博臣**

三菱商事(株)入社、(株)日本ケアサプライ代表取締役社長、(一社)日本福祉用具供給協会理事等を歴任。2020年6月 当社取締役就任

常勤監査役(社外) **衣川 信也**

三楽オーシャン(株)(現メルシャン)入社、新日本証券(株)(現みずほ証券)等を経て、2015年6月 当社常勤監査役就任

監査役 **渡邊 龍男**

2014年6月 当社取締役就任、2020年6月 当社監査役就任。(株)オールアバウト、(株)ワイヤレスゲート 社外取締役(監査等委員)、(株)CAC Holdings社外取締役等を兼任。

常務取締役 **星野 健治**

公認会計士。あずさ監査法人入社後、2013年8月当社入社。、当社入社後IPOに携わる。経営管理部長を務め、2016年3月取締役就任

取締役(社外) **黒田 和道**

(株)電脳隊、(株)フラクタリスト取締役等を歴任し、現在、(株)PLAYの代表取締役社長。2024年6月 当社取締役就任

監査役(社外) **佐藤 雅彦**

弁護士。1997年4月弁護士登録、高瀬法律事務所入所。2015年4月viola法律事務所を開設、同事務所所長(現任)。2016年6月 当社監査役就任

事業領域

社会保障費の増大、医療・介護人材の不足、労働力不足の課題を解決するべく、BtoCとBtoBの両面で、幅広い対象をターゲットに健康な未来を創るための事業を展開

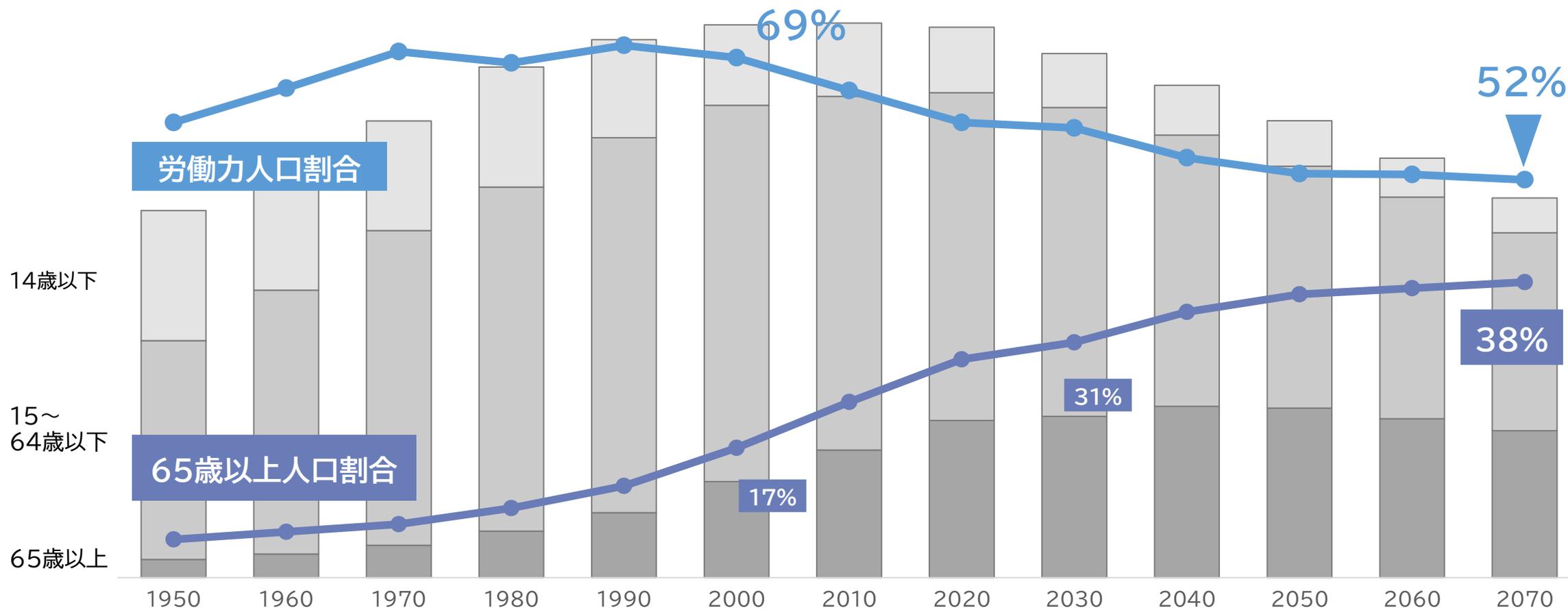


2. 事業環境

超高齢社会における課題

高齢者数の増加により、日本は**社会保障費の増大**、**医療・介護人材の不足**、**労働力不足**の3つの重大な課題を抱える

2025年問題: 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることによる介護や医療などの社会保障費の急増
 2040年問題: 高齢者人口の割合がピークに達し、医療や介護の需要が増加する一方、介護人材の不足が深刻化

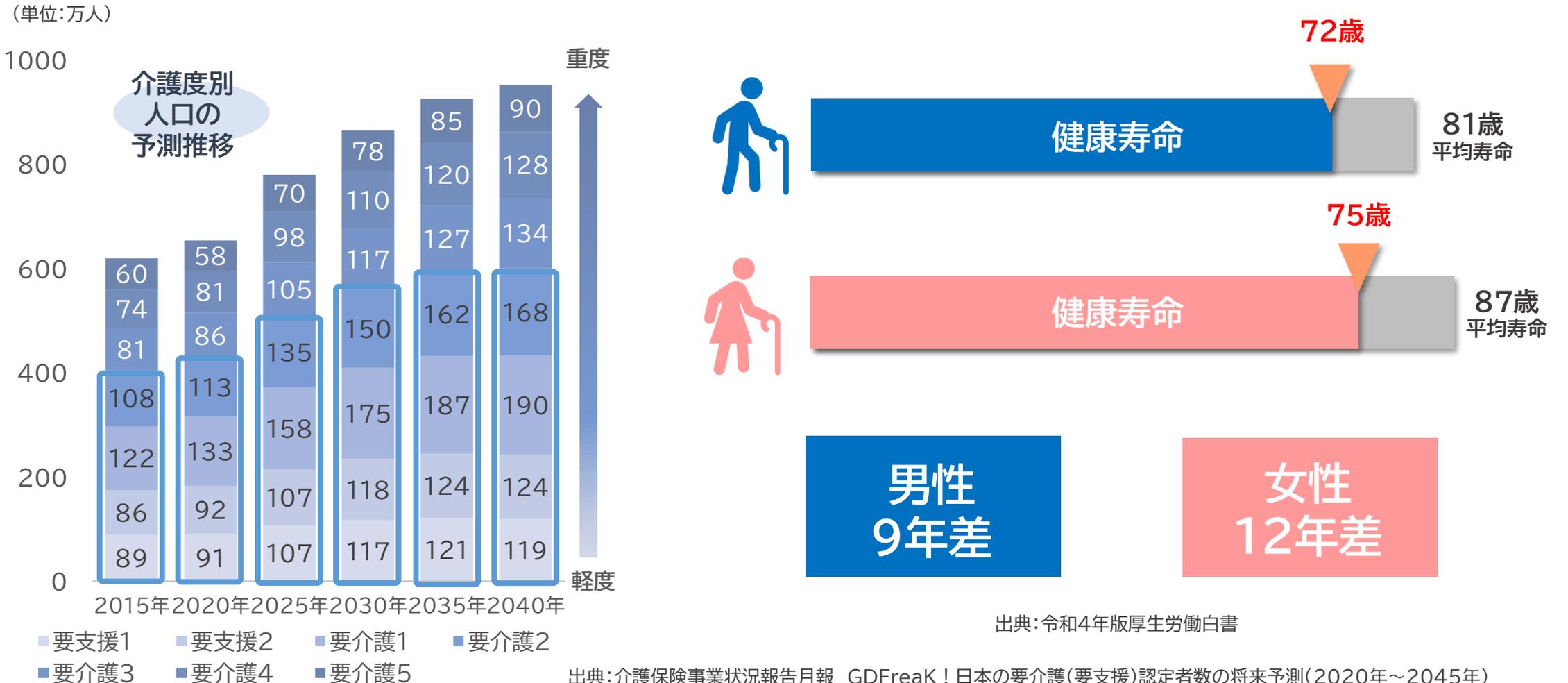


高齢化の推移と将来推計

出典: 内閣府「令和5年版高齢社会白書(概要版)第1節高齢化の状況」

高齢者増加による社会保障費の増大

高齢者(特に軽度要介護者)が増加する中、健康寿命の延伸(平均寿命と健康寿命の差の短縮)により、今後より一層負担が大きくなる介護費・医療費の削減を図ることができる。



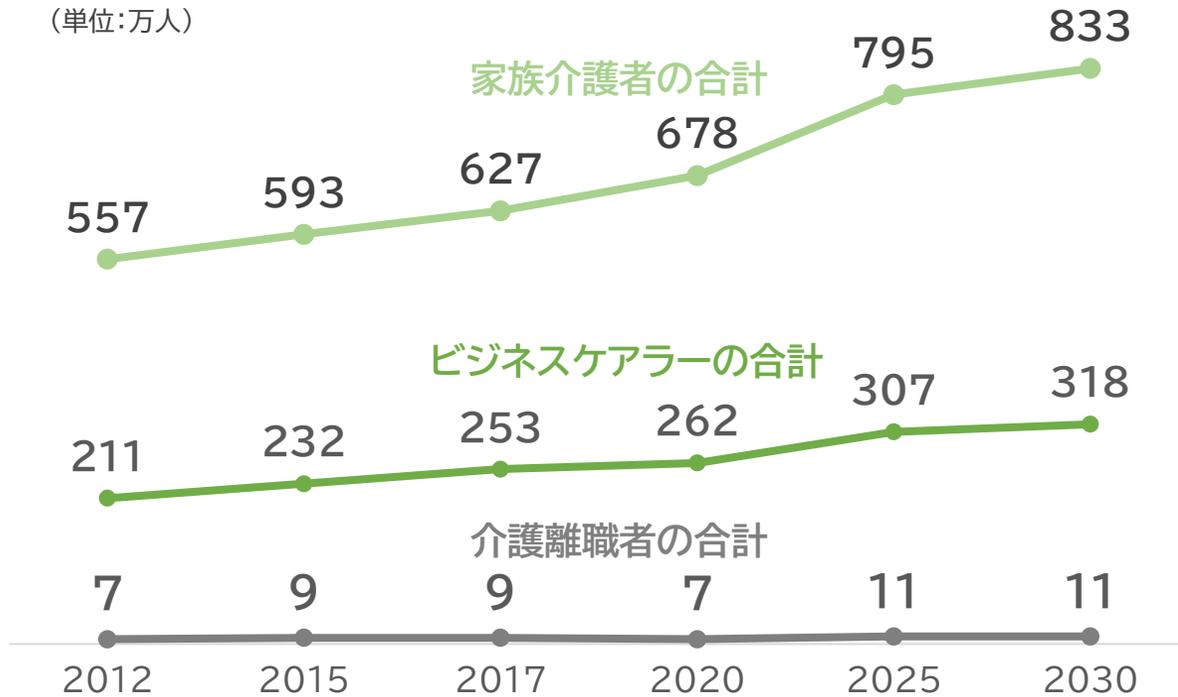
高齢者増加による医療・介護人材の不足、労働力不足

団塊世代ジュニアの高齢化により、ビジネスケアラーは2030年で**318万**に増加

2030年における経済損失額は**9兆円**に

介護・育児休業法改正により、労働者への仕事と介護の両立支援制度の周知が**25年4月に義務化**へ

(単位:万人)



仕事と介護の両立困難に関連する企業ごとの経済損失額を特定の業種・従業員数をモデルとして試算

大企業
【モデル企業】製造業/従業員3,000名

62,415万円/社
(従業員一人当たり20.8万円)

中小企業
【モデル企業】製造業/従業員100名

773万円/社
(従業員一人当たり7.73万円)

出典:日本総研「令和4年度ヘルスケアサービス社会実装事業(持続可能な高齢化社会の実現に向けた調査)」概要報告書

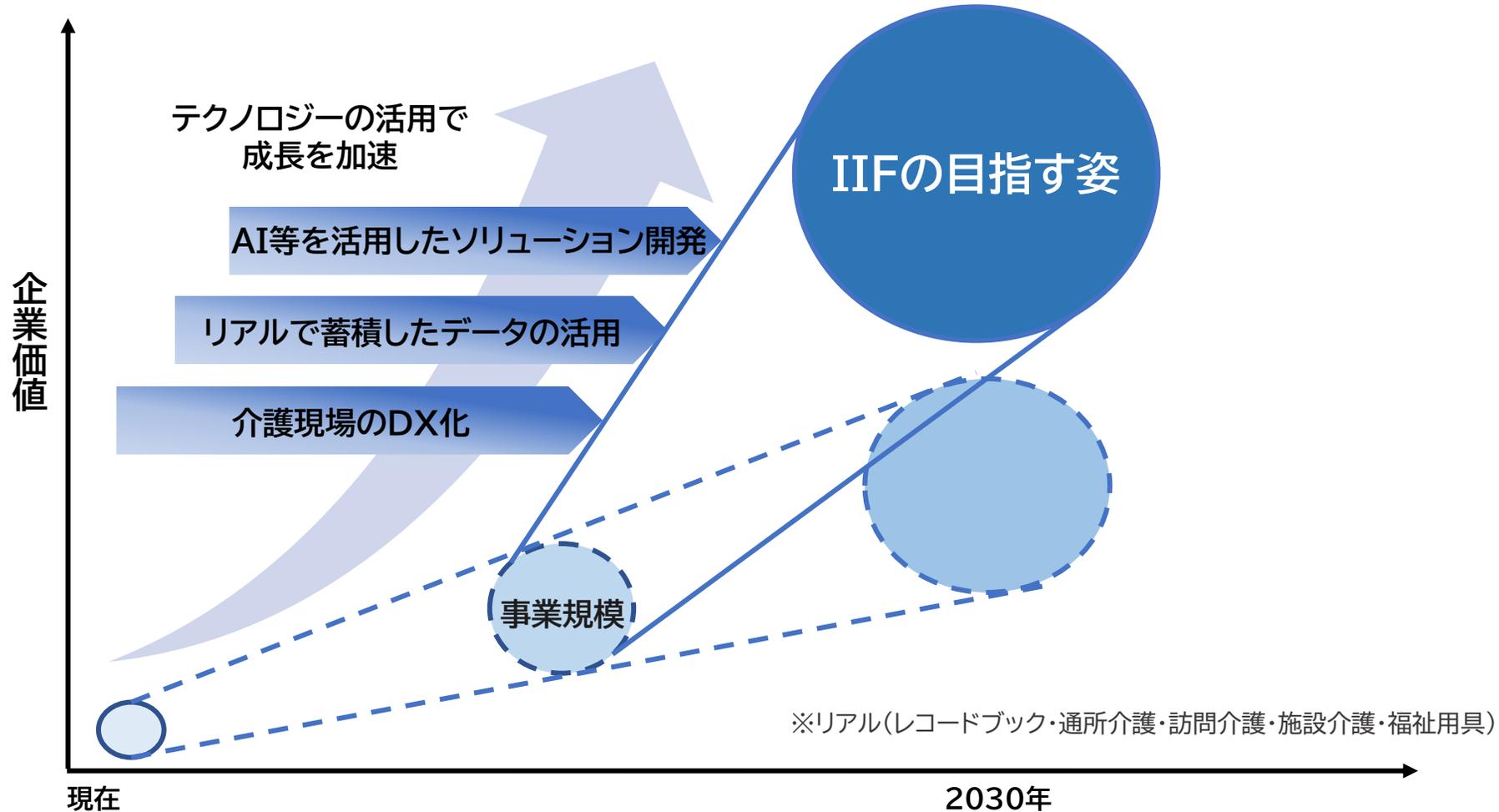
経済産業省「仕事と介護の両立支援に関する 経営者向けガイドライン」入門編

出所:経済産業省「第1回 企業経営と介護両立支援に関する検討会」資料3

3. 成長戦略

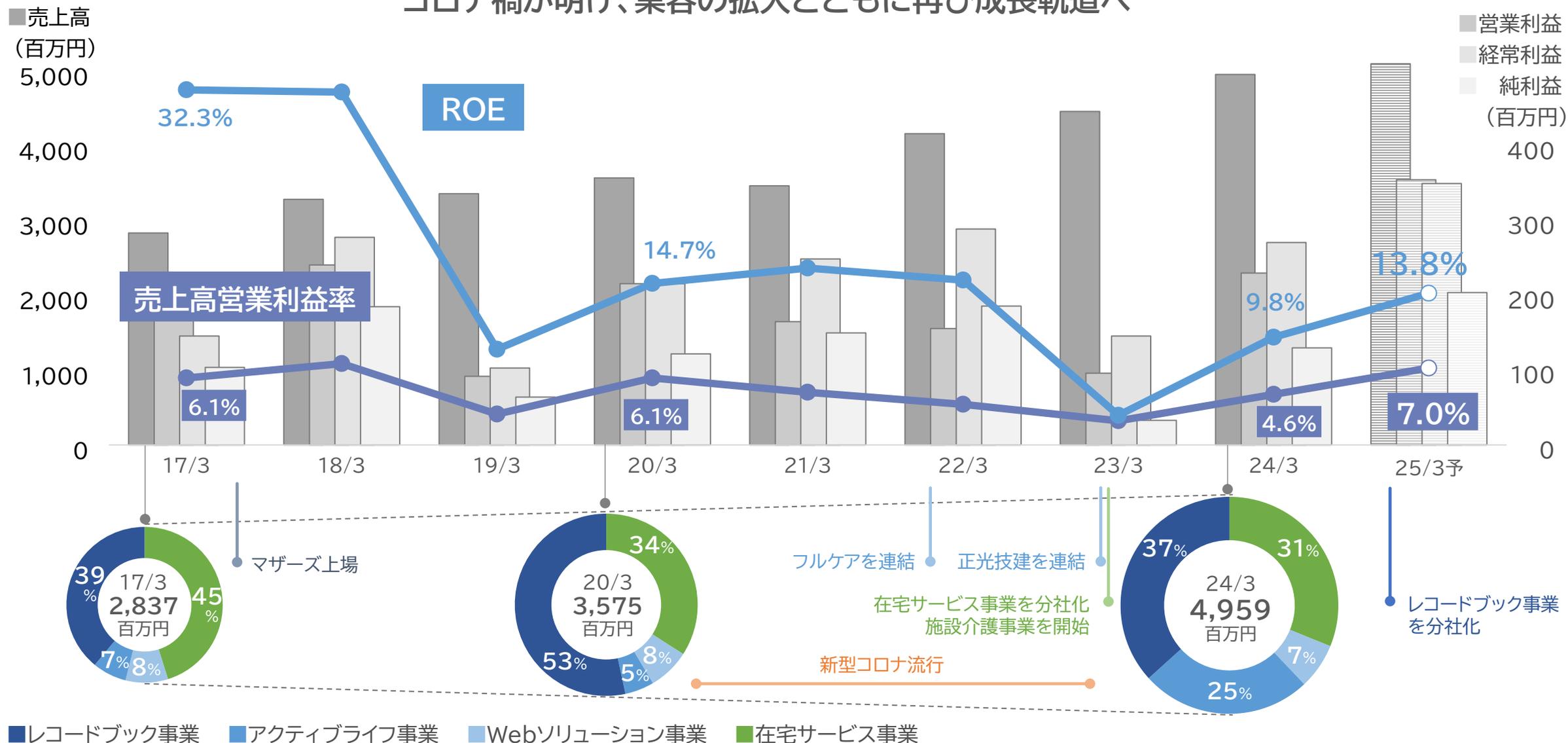
IIFVision2030

『健康な未来』を実現するために、
「超高齢社会における課題解決」を重要なミッションと位置づけ
既存事業を拡大するとともに、今後はテクノロジーを活用することで成長を加速していきます。



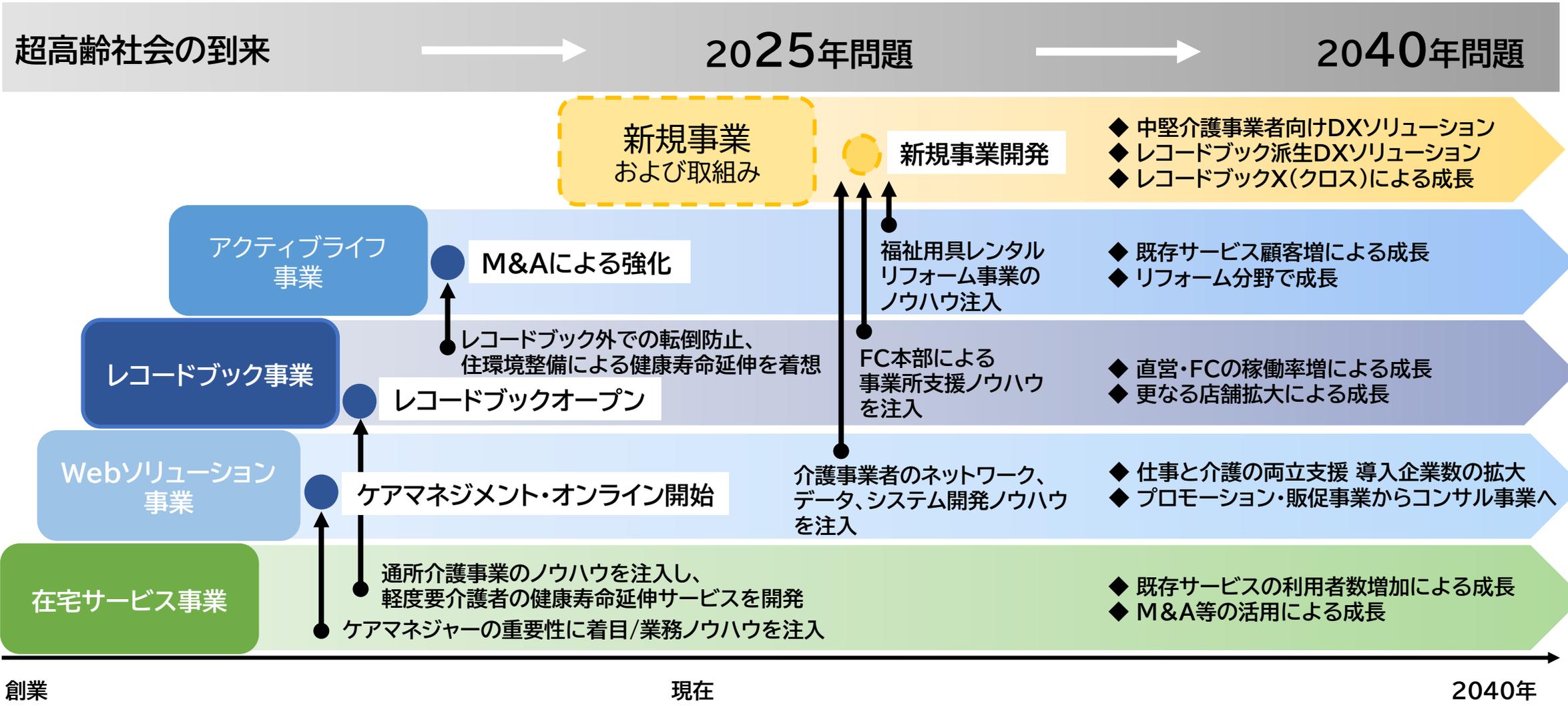
過去振り返り

コロナ禍が明け、業容の拡大とともに再び成長軌道へ



事業別の成長シナリオ

創業来の投資により確立されたノウハウを活用し、社会課題を解決する成長戦略



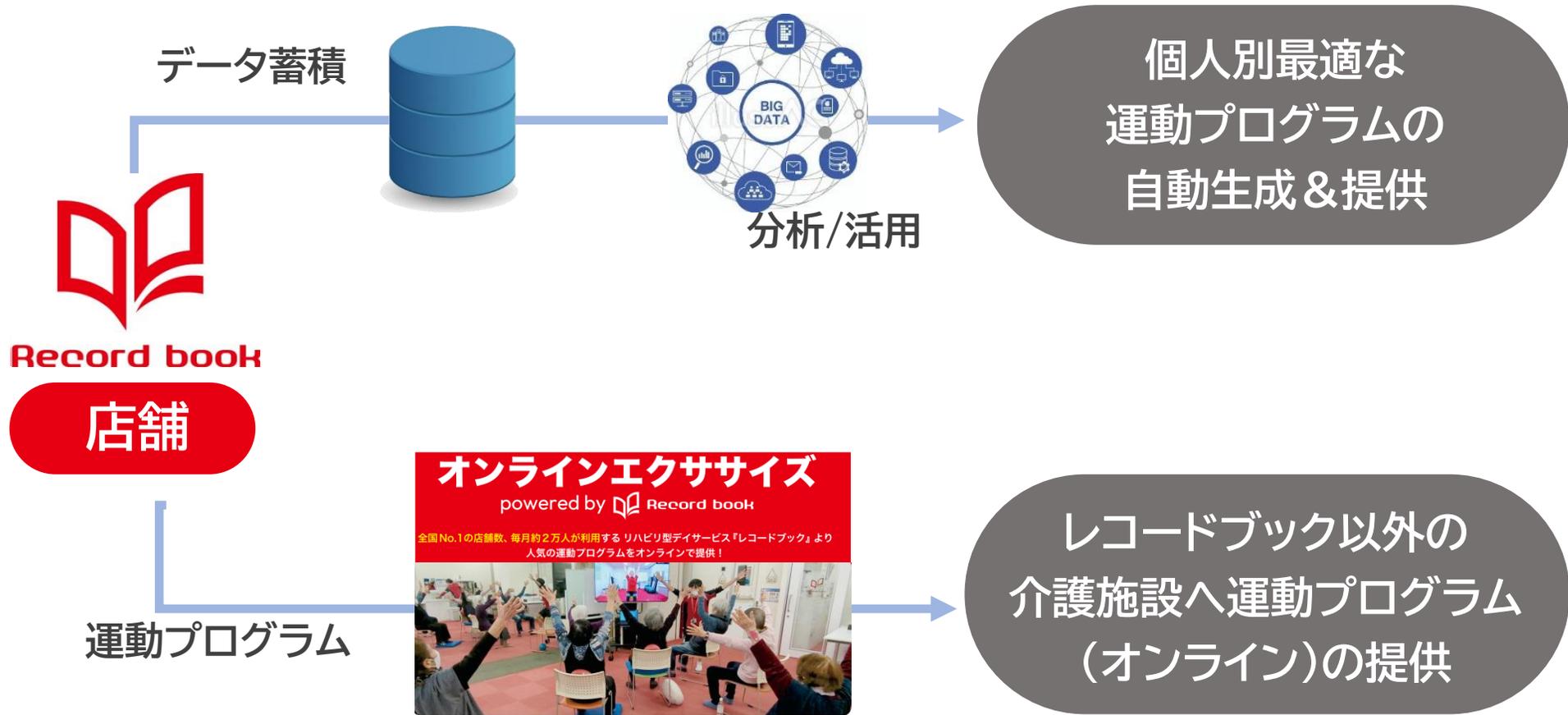
既存事業の成長シナリオ

これまでの投資で確立されたビジネスモデルにより、売上・利益は安定
更なる拡大により、売上・利益成長を実現する。

事業	成長シナリオ
レコードブック	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 直営店及びFC加盟店の稼働率上昇による売上・利益成長。 (全店舗利用者数 26/3月末:21,485人、27/3月末:23,786人、28/3月末:26,791人) (全店舗稼働率 26/3月:67.5%、27/3月:66.0%、28/3月:64.5%)※新店増加による減 (既存店舗稼働率 26/3月:73.5%、27/3月:76.6%、28/3月:79.4%) ◆ 物件開発の課題を解決し、既存FC加盟店の増店速度を加速し、継続して店舗数拡大を目指す。 (26/3月末:236店舗、27/3月末:266店舗、28/3月末:306店舗) ◆ 直営店を段階的にFC化(FC加盟店に譲渡)し、事業の効率化を図る。
アクティブライフ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ スtock売上となる福祉用具貸与件数の増加に注力し、安定的な売上・利益成長を目指す。(フルケア・カンケイ舎) (利用者数 26/3月末:6,299人、27/3月末:6,549人、28/3月末:6,869人) ◆ M&A後の構造改革により売上増加及び原価率低減を図り、利益貢献を目指す。(正光技建) ◆ 両社の連携による住宅改修(リフォーム)案件の増加および単価増を目指す。(フルケア×正光技建)
WEBソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2025年4月の育児介護休業法の改正に伴い、仕事と介護の両立支援サービス導入企業数の拡大を図り、売上・利益成長を目指す。 ◆ シルバーマーケティング支援の既存案件を起点とし、プロモーション・販促事業からコンサル事業へ転換を図り成長を加速する。
在宅サービス	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 既存サービスの利用者数増加による、売上・利益拡大を目指す。 ◆ M&A等の活用により、既存提供サービスのエリア拡大および周辺事業の取り込みを図る。

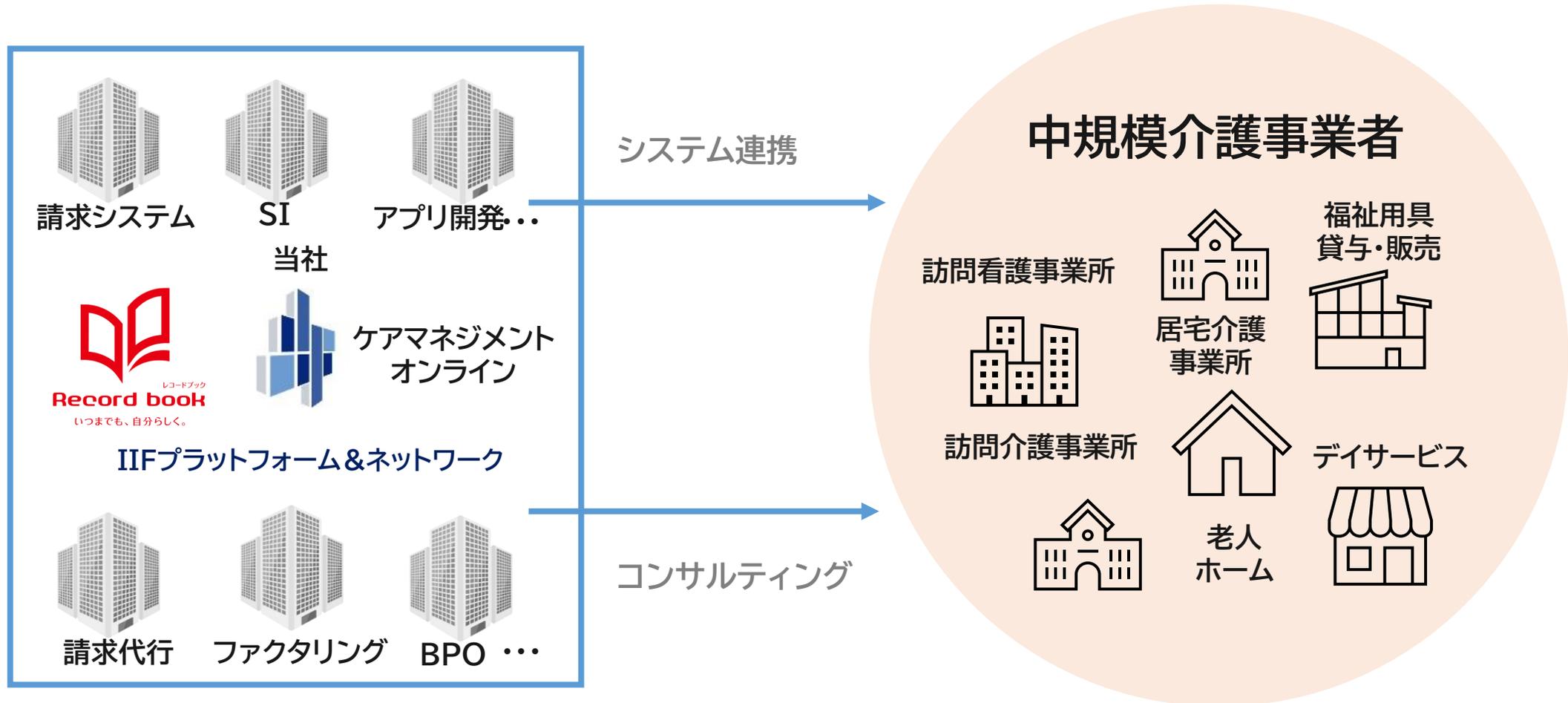
新規取組み（レコードブック派生DXソリューション）

レコードブック事業の運動プログラムや蓄積したデータを活用したDXソリューションを継続的に開発し、高齢者の健康寿命の延伸と、介護現場での業務生産性の向上を同時に追求する。



新規事業（中規模介護事業者向けDXソリューション）

当社が蓄積してきた介護事業運営ノウハウ、各種データ、ネットワークを用いて、介護事業者に対してシステム連携及びコンサルティングサービスの提供により、介護事業者の生産性を向上し、介護人材不足、労働力不足の課題解決を目指す。



4.数值目標

2028年3月期目標

■ 財務数値目標

連結売上高

73.9億

(24/3期比 +49%)

連結営業利益

9.8億

(24/3期比 +326%)

連結純利益

5.7億

(24/3期比 +338%)

■ 収益性・効率性目標

営業利益率

13.3%

(24/3期は4.6%)

ROE

22.0%

(24/3期は9.8%)

EPS

108

(24/3期は24)

業績推移及び計画

(単位:百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	2028/3期
	実績				予想	計画		
売上高	3,468	4,168	4,464	4,959	5,102	5,869	6,831	7,395
営業利益	165	156	96	230	355	530	727	980
親会社株主に帰属する 当期純利益	150	186	33	130	204	309	426	574
ROE (%)	16.1	15.0	2.7	9.8	13.8	17.7	20.2	22.0
売上高営業利益率(%)	4.8	3.7	2.2	4.6	7.0	9.0	10.7	13.3
EPS (円)	27	34	6	24	38	58	80	108

※当社は2022年3月期より連結決算を開始しておりますため、2021年3月期以前については単体の業績を記載しております。

※2026年3月期以降の計画には、在宅サービス事業及び新規事業におけるM&Aによる拡大も含んでおります。

※2025年3月期の予想値は、2024年5月15日開示の決算短信にて開示済の業績予想値で、2026年3月期以降の計画値はこの予想を計画通り達成することを前提としております。なお、四半期ごとの経営指標は決算補足説明資料にて開示いたします。

セグメント別業績推移及び計画

既存事業の安定拡大により、大幅な利益成長を実現。
加えて、新規事業開発により更なる事業規模、売上拡大を目指す。

	2024/3期		2025/3期		2026/3期		2027/3期		2028/3期	
	実績		予想		計画					
	売上高	営業利益								
(単位:百万円)										
■既存事業										
■ヘルスケアソリューション事業	3,414	421	3,460	600	3,622	754	3,839	902	4,118	1,103
レコードブック	1,820	292	1,776	433	1,854	540	1,992	647	2,196	809
アクティブライフ	1,256	34	1,365	100	1,421	124	1,470	144	1,519	161
Webソリューション	337	95	318	66	345	89	376	110	402	132
■在宅サービス事業	1,544	339	1,642	359	1,896	412	2,152	411	2,175	410
調整額	—	▲530	—	▲604	—	▲674	—	▲688	—	▲707
既存事業 計	4,959	230	5,102	355	5,518	492	5,992	625	6,293	806
■新規事業および取組み					351	37	839	102	1,101	173
総合計	4,959	230	5,102	355	5,869	530	6,831	727	7,395	980

5.成長投資と株主還元

財務方針

財務健全性を維持しつつ、創出する営業CF及び資金調達により、投資機会を逃さずチャレンジする。
また、投資と株主還元のバランスを考慮し、利益成長を続け、配当増額を目指す。

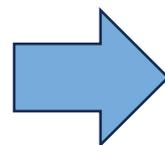
営業キャッシュフロー
12億円以上(3か年累計)



手元現預金
15億円(2024年3月末)



資金調達
(銀行借入 & 市場調達)



財務健全性

- ◆ 自己資本比率40%程度を維持
- ◆ 流動性比率120%以上を維持

成長投資枠

- ◆ 10億円～50億円(3か年累計)
- ◆ 主にM&Aにより積極的な投資を行う(M&A方針参照)

配当

- ◆ 利益成長に伴う配当金額の増額を実現
- ◆ 累進的に配当性向を高める

M&A方針

M&Aについては、既存事業の成長に寄与するもの(規模拡大、シナジーが見込める周辺領域、など)か、「2040年問題の解決」に資する領域へのM&Aを積極的に検討していく。

	既存事業	新規事業
領域	<ul style="list-style-type: none"> ① 既存事業の規模拡大に資する領域 ② 既存事業に対し、シナジー創出もしくは補完となる事業領域 ③ 既存リソースを活用し、優位性が維持出来る周辺領域 	<ul style="list-style-type: none"> ① 当社グループが構想するDXソリューションのラインアップに含まれる領域(P.18) ② データ・AI等を活用したソリューション開発領域(P.17) ③ 超高齢社会の課題解決に向けた意義ある領域
投資規模	~合計50億円程度 ※EBITDAの5~7倍以下での実施を前提	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ① 原則、赤字でないこと ② 当社グループ全体の業績への影響が、のれん控除後利益でプラスであること 	成長戦略における新規事業の実行に資すること ※売上、利益規模は問わない
原資	現預金及び金融機関による借入をメイン戦略とし、そのほか資本性の調達スキームなど柔軟に検討	

配当方針

中期経営計画を力強く推進することで、利益成長を通じ、
配当性向および1株当たり配当金の増加を目指す

■配当推移

基準日			初配	増配		
	2022年 3月31日	2023年 3月31日	2024年 3月31日	2025年 3月31日
1株当たり 配当金		0円	0円	5.0円	8.0円	●——利益成長に伴う増額 を目指す。
配当金総額				26百万円	42百万円	●——
配当性向				20.3%	20.7%	●——累進的に配当性向を 高める。
配当原資				利益剰余金	利益剰余金	

6.SDGs

IIFグループのSDGsへの貢献 ①

当社グループは、新しいヘルスケアサービスの創造とチャレンジを通じて持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



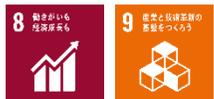
レコードブックで心身ともに健康な生活をいつまでも

- IIFではリハビリ型デイサービス「レコードブック」の運営を通して、「健康寿命の延伸」に取り組んでいます。
- レコードブックでは筑波大学THF田中教授と共同開発した専門的な運動メニューを用意し、ご利用者一人ひとりに合わせた目標設定で要介護度の改善を目指しています。プログラムはコミュニケーションを重視しており、ご利用者同士やスタッフとの交流により、心身ともに健康な生活の実現に貢献しています。



レコードブックとともに、住み続けられるまちづくりを

- レコードブックはフランチャイズ展開を進めており、地域に根差した地元企業や個人オーナーが主体となり、明るい街づくりに貢献しています。レコードブックが全国に拡大することで、高齢者に交流の場を提供し、住み慣れた街で健康に暮らしたいというご利用者の願いを支えています。
- 深刻化する地方の空洞化の歯止めに繋がるだけでなく、地方での若い世代の良質な雇用の機会を創出しています。



AI・IoTなどのデジタル技術を活用した”健康寿命延伸”ソリューション

- 健康寿命延伸を実現すべく、強みであるレコードブックで蓄積した「リアルデータ」とAIやIoTなどの最新のデジタル技術を活用した、新しいソリューションの開発に取り組んでいます。
- Livesmart社と共同開発した高齢者の転倒予防に繋がる歩行解析アプリケーションは、ご利用者のTUG測定※を撮影し、歩行状態をスコア化することで、トレーニング継続のモチベーション維持・向上を図っています。



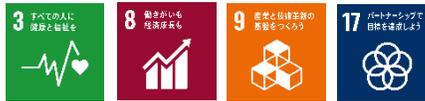
※ TUGはtimed up&goの略称。歩行能力や動的バランス、敏捷性などを総合的に判断するテストとして世界的に使われている指標。

IIFグループのSDGsへの貢献 ②



高齢者の課題解決を支える全国のケアマネジャーネットワーク

- 高齢者が介護サービスを受けるために必要不可欠な存在である介護支援専門員(ケアマネジャー)の業務を支援するため、専門情報サイト「ケアマネジメントオンライン」を運営しています。
- 全国のケアマネジャーネットワークを介して、高齢者の様々な課題解決を目指す企業のマーケティングリサーチやプロモーション活動等を支援する役割も同時に担っています。



誰もが仕事や介護を両立して輝ける社会を目指して

- 仕事と介護の両立を支援し介護離職防止に取り組む企業に向けて、介護に関する負担や不安を抱える従業員向けの福利厚生サービス「わかるかいごBiz」を提供しています。
- 介護は家庭の状況などによってその期間や方策が多種多様です。個人や企業に合わせた形でサポートし、誰もが安心して働き続けられる環境の提供をサポートしています。



新たなイノベーションを創出する、やりがいのある働きやすい環境づくり

- IIFグループは、人材を重要な経営資源の一つとして位置付け、社員の「仕事のやりがい」と「働きやすさ」の向上を目指して人事制度や人材育成の仕組みを構築しています。
- 多様な働き方が求められる今、ライフステージに合わせた勤務体制の整備等を積極的に進めるなど、社員一人ひとりが仕事と私生活を共存させながら、自身の能力を発揮できるような職場環境づくりに努めています。



パートナーシップを通じて「健康な未来」を実現

- 社会の価値観が常に変化する中、IIFグループは私たちの活動を支えていただいている全てのステークホルダーの皆様との建設的な対話を通じて、持続可能な社会の実現へ貢献していきます。
- ステークホルダーの皆様のご意見やご期待を経営に反映し、企業価値の向上と経営理念である「健康な未来」の実現を目指します。



本資料の取り扱いについて

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部
Email： ir@iif.jp



INTERNET INFINITY

Copyright© internet infinity Inc. All Rights Reserved.